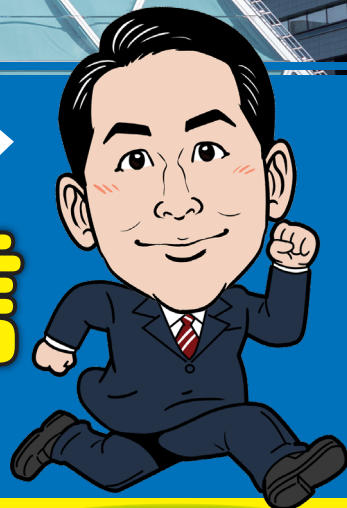


さいたま市議会議員 **てるきな弘志**の Vol.22

てるきな通信



【発行責任者】 てるきな弘志
さいたま市中央区下落合4-10-14-401
公明党さいたま市議会議員団



令和5年12月定例会(11月29日～12月22日)のご報告

高校3年生まで医療費が無償に!

公明党からの本会議質問に、清水さいたま市長は「令和6年度からの高校生までの医療費無償化対象拡充について制度設計、自主財源の確保を指示した」と答弁。来年度中に無償化を進めていくことが示されました。



今定例会で議決された主な補正予算

●物価高騰対応重点支援給付金

- ①住民税非課税世帯⇒ **7万円**
- ②住民税均等割のみ課税世帯⇒ **10万円**

●子育て世帯への特別給付金

住民税非課税または均等割額のみ課税等の世帯**児童一人当たり5万円**

●省エネ家電買換え促進キャンペーン

エアコン、冷蔵庫、テレビ、LED照明器具を省エネタイプに買換えた場合、**価格の2分の1を上限7万円**の範囲でキャッシュレスポイントまたは商品券で還元されます。

●児童関連施設の性被害防止対策

障害児入所施設、放課後児童クラブ、保育施設等における性被害防止対策として、パーテーションやカメラ等の整備費用を支援。

●放課後児童クラブの追加整備

市内8ヶ所の民設放課後児童クラブを追加整備いたします。中央区においては**与野本町小学校区に整備**される予定です。

●アーバンスポーツ施設整備

市内2ヶ所(新見沼大橋スポーツ広場、野田小学校プール)にスケートボード、BMXなどのできる場所を整備します。

物価高騰対策と経済再生に向けた緊急提言



11月24日、公明党さいたま市議会議員団は、清水さいたま市長に対し、政府の決定した重点支援地方交付金を効果的に活用し、物価高騰から市民生活を守る5つの緊急提言を提出しました。

- ①低所得世帯支援枠7万円の年内給付を目指すこと。
- ②住民税均等割のみ課税世帯への支援策を講じること。
- ③子育て世帯への支援策を講じること。
- ④省エネ性能の高い家電への買換え支援策を講じること。
- ⑤子ども食堂など食品配布事業を実施している団体への運営支援策を講じること。

保健福祉委員会より



子育て支援アプリの導入へ！

今年度の保健福祉委員会の調査研究テーマを「子ども政策DXの推進」とし、調査の成果として、来年度より母子健康手帳の機能を補完する子育て支援アプリを導入する方向性

が示されました。

妊婦や子どもの健康情報をデータで管理・保管、家族間での共有、予防接種スケジュールの自動作成、自治体からのお知らせ機能などの機能を追加し、妊娠から出産・育児まで切れ目ないサポートが実現できるようにしてまいります。



地域の話

■ 高沼導水路整備計画について



下落合小学校、与野東中学校から国道17号線を横切り、たつみ通りに至る高沼導水路の整備について、1月14日に説明会を開催。

地元自治会、住民、NPOの皆様と協議を重ね、整備方針を決めてまいります。近年の気候変動を踏まえた治水能力の向上と、

自然と憩うことのできる親水空間の創出を目指してまいります。

■ 子どもの政治参加へ



●令和5年11月15～16日

浦和実業学園中学校2年生3名が職場体験として公明党さいたま市議団を訪問。副市長懇談、議場、危機管理室の見学、くらし応援室での市民相談対応。最後は、議会での質疑文の作成を体験しました。

●令和5年11月22日

与野南小6年生が議場見学。普段は質問する側の議員が児童の質問に答えました。

■ 大正時代まつり等でストリートピアノが好評



●令和5年10月8日

第30回を記念する企画としてストリートピアノステージが出現。YouTube等で活躍する音楽家を招待した他、ストリートならではの飛び入り参加で盛り上がりしました。

また、さいたま新都心駅に設置されているピアノには、クリスマスのイルミネーションに包まれる中、プロの歌手が撮影に訪れるなど賑わっています。

